

# News Letter

2022年  
3月

中国四国農政局  
香川県拠点

## 香川県園芸総合センター 梅 桜など四季折々の花を観賞

香川県園芸総合センターは昭和62年4月に開所され、園芸作物の生産振興と園芸産地の育成を図るとともに、花と緑の快適環境づくりを進めるための総合的な指導拠点施設として、原種養成、栽培展示、研修・指導の三つの業務を行っています。



(梅園風景)



(八重咲きの梅)



(満開の枝垂梅(呉服枝垂))

同センターは、2.4ヘクタールの敷地内に6棟の展示温室ハウス、梅園、展示場等で構成されています。

今年は開花が遅れていますが、梅園には約114本の梅(80品種)が植栽され、呉服枝垂、酔月、飛梅等の梅が満開を迎え、入園者を楽しませています。

また、展示温室ハウスでは、マーガレット、ラナンキュラス、洋ラン等数多くの植物が栽培・展示されています。

梅が終われば次は桜の季節を迎えます。ソメイヨシノ、ボタンザクラ、カンヒザクラ等色々な桜が鑑賞できます。5月には、希少糖の木「ズイナ」が開花します。ズイナは希少糖D-プシコースを多く含む植物で、園内に13本が植栽されています。

同センターの住所は高松市香南町岡1164-1で、高松空港のすぐ近くにありす。開園時間は9時から16時までで、入園は無料です。訪れる際はコロナ対策をお願いします。



(早春を感じさせる古木の梅の盆栽)

香川県園芸総合センターホームページ

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/engeicenter/ensou/ensou.html>

# 玄米及び精米表示の見直し(年月旬表示の導入)について

玄米及び精米商品は、これまで「調製年月日」「精米年月日」「輸入年月日」を表示することとされてきましたが、令和2年3月27日より、年月日に加えて「年月旬(上旬/中旬/下旬)」表示もできるようになりました。これにより、食品ロスの削減や物流の効率化が図られることが期待されます。

なお、米の取扱事業者の皆様は、玄米及び精米に関する表示基準の改正に伴う経過措置期間が終了する令和4年3月31日までに、米袋の一括表示欄の表示事項を「精米年月日」から「精米時期」に変更いただくようお願いします。

あわせて、「調製年月日」「輸入年月日」は、それぞれ「調製時期」「輸入時期」に変更をお願いします。

詳しくは、こちらをご覧ください。(農林水産省ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/chushi/seisan/kome/>

## 被覆肥料の対策について

「プラスチックに係る資源循環の促進に関する法律」が成立するなど、プラスチック使用製品による環境汚染に対する関心が高まる中、農業(水稲)で使用される被覆肥料のプラスチック被膜が海洋流出している問題が取り上げられるようになりました。

被覆肥料は、省力化や施肥量の削減につながるなどのメリットがありますが、その一方で、表面をプラスチックなどで被覆しているため、肥料成分が溶け出した後のプラスチック殻が水面に浮かんで河川や海洋等に流出するおそれがあるのです。

<対策>

流出の9割は代かき時期に起きています。 流出防止と代替技術の2パターンで対策を！



レベラーでほ場を均平化しておくとおと浅水代かきがしやすいです。その後自然落水を。

その1:  
流出防止



材料は  
すべて  
百均で  
揃いま  
す



浮かび上がってきたプラスチック殻をすくい取り

このような網の張り方も



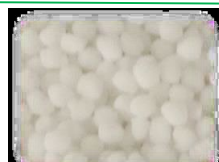
詳しくは、こちらを  
ご覧ください。

落水口にネットを張って捕集

その2:  
代替  
技術



スーパーIB



ウレアホルム肥料



流し込み液肥



ドローン施肥



ペースト2段施肥